

総務文教常任委員会

令和2年度一般会計予算 40億6,805万円 庁舎整備事業に12億3,500万円

令和2年度一般会計予算の内、総務委員会では、議会費、総務費、消防費、教育費、公債費などの主要予算が審査されました。新角館庁舎整備事業費の令和2年度分として約12億3,500万円などが計上されています。

令和2年度一般会計予算 (総務常任委員会で審査されたもの)

項目	31年度予算額	30年度予算額	比較	伸び率	備考
議会費	1億7,043万円	1億7,317万円	△274万円	△1.6%	議会運営に関する予算
総務費	40億6,805万円	37億7,390万円	2億9,415万円	7.8%	行政運営全般や企画政策等
消防費	10億7,254万円	9億6,107万円	1億1,147万円	11.6%	大曲仙北広域消防や消防団に関わる予算
教育費	15億4,761万円	27億8,369万円	△12億3,608万円	△44.4%	小中学校や幼稚園、公民館、文化財保護等の予算
公債費	20億8,762万円	21億6,660万円	△7,899万円	△3.6%	借金の返済

令和2年度予算 主な内容

庁舎整備事業費	12億3,522万円	新角館庁舎整備事業費の内令和2年度分
公共施設等マネジメント事業費	547万円	公共施設等の統廃合 令和2年度は角館庁舎解体工事実施設計など
ふるさと納税ふるさと便事業費	2億4,766万円	ふるさと納税寄付金に対する返礼品の予算 今年度寄付額は4億円を見込む
デジタル技術による農村再生事業費	1,026万円	近未来技術を活用した次世代農業(スマート農業)プロジェクト
重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業費	7,527万円	武家屋敷の町並みを維持・保存するため修理修景事業を実施
体育施設費	3,345万円	市内の体育館、野球場、運動公園等の維持管理費

ここが知りたい 議論のポイント

令和2年度一般会計予算の主な質疑

厳しい財政を問う 令和2年度予算で経常収支比率はどう変わる? 予算要求額と実際の予算額との差は?

質問 自治体の財政余裕を示す経常収支比率だが、30年度決算では99・5%と非常に厳しい数値であった。令和2年度においてはどのよう
に推移することが予測されるのか。
また、各課からの予算要求額と実際の予算額との乖離は非常に大きいと聞か
が具体的にどのようになっているのか。

答弁 経常収支比率などの財政指標については令和2年度においても同水準で推移する。また、予算要求額と査定額の差が大きいものとしては、水道事業会計(1億1,813万円減)、新たな植物工場誘致に関する補助金(5,000万円減)などがあげられる。

ドローン学習の成果は果たしてどれだけあるのか?

質問 ドローン学習研究事業(169万円)では、市内中学校にドローンを配備しプログラミング学習を実施するそうだが、事業実施にあたり、既に配備済みの小学校における成果

を検証するべきではないのか。

答弁 各小学校ではこれまでドローンを活用したプログラミング教育を実施してきたが、新たな学習指導要領においてもプログラミングが導入されることとなり、本市では先駆けて取り組んできたと言える。今回は中学校5校に配備するものであるが、今後小学校での成果についても十分検証して教育に生かしていきたい。

総合体育館整備計画はどうなった? 生保内体育館の雨漏りはいつまで放置するのか?

質問 過去に総合体育館整備の基本計画策定が行われたはずだが、その後は一休どうなっているのか。

答弁 総合体育館については基本計画は策定したが、市の財源にも限りがあるため、規模や建設手法も含め検討中である。やめた訳ではない。全体的な財政バランスを考慮し慎重に判断していく。

質問 生保内体育館は雨漏りがひどく長年放置されている。施設の利用者も多いため、総合体育館整備が財政提起にかなわないとすれば、早急に生保内体育館の修繕を行うべきではないのか。

答弁 雨漏りは生保内体育館を始め、他の体育館でも発生しており、今後対応を考えたい。また、施設の継続、廃止等についても公共施設等総合管理計画や個別施設計画も踏まえた上で、十分検討していく。

市民福祉常任委員会

令和2年度一般会計予算

民生費・衛生費76億9,659万円

令和2年度一般会計予算の内、民生費、衛生費が審査されました。新年度から二つの幼保連携型認定こども園が開園することから、児童福祉施設費は前年度比1億7,123万円(+11.5%)の増額となっております。また、医師確保対策事業費については、新規の貸付をせず、貸付をしている方々への病院招聘に努力することです。

令和2年度一般会計予算 (市民福祉常任委員会で審査されたもの)

項目	2年度予算額	元年度予算額	比較	増減比率	備考	
民生費	社会福祉費	28億2,996万円	28億7,178万円	△4,182万円	△1.5%	障害者や高齢者の福祉に関する予算
	児童福祉費	16億8,923万円	15億5,850万円	1億3,073万円	8.4%	認可保育園の運営など児童福祉の予算
	生活保護費	6億398万円	6億2,448万円	△2,050万円	△3.3%	生活保護にかかる予算
	国民年金費	763万円	840万円	△77万円	△9.2%	国民年金事務に関連する予算
	災害救助費	113万円	107万円	6万円	5.6%	災害救援に関する予算
	計	51億3,193万円	50億6,422万円	6,771万円	1.3%	
衛生費	保険衛生費	5億4,434万円	5億9,715万円	△5,281万円	△8.8%	病気予防や医師確保、歯科診療所、浄化槽整備など
	水道費	2億9,634万円	2億594万円	9,040万円	43.9%	簡易水道、小規模水道等の運営に関する予算
	病院費	9億5,000万円	9億5,000万円	0	0.0%	病院事業に対する補助などの予算
	清掃費	7億7,399万円	8億2,696万円	△5,293万円	△6.4%	ゴミ処理、し尿処理施設などの運営費
	計	25億6,467万円	25億8,005万円	△1,538万円	△0.6%	

令和2年度一般会計予算 主な内容

生きがい活動通所支援事業費	597万円	高齢者が地域で生活を維持するため、多世代交流施設を活用した通所事業
介護タクシー利用助成事業費	59万円	在宅要介護認定者が、通院などに利用した場合半額を助成
社会福祉法人はなさき仙北補助金	2億4,646万円	幼保連携型認定こども園を運営する「はなさき仙北」への補助
生活保護費	5億9,484万円	生活保護法による扶助費の支給。
心の健康づくり・自殺予防対策事業費	201万円	自殺予防の普及啓発活動等を実施

令和元年度病院事業会計補正予算

厳しい病院経営 どのように収益をあげるのか？

質問 建前ではなく、身を削る覚悟で臨むべきでは。

答弁 小児科・脳外科の外来診療日数も減ることにより、今後の収支計画が大事になるとの思いで様々な議論をしている。我々の意見だけでは進まないこともあるので、議会とも積極的に情報交換をしながら進めていきたい。

質問 過去に病院審議会があったが、医師や職員、議員なども含めて検討するべきでは。

答弁 お互いに意見を出し合って、アイデアを頂ければありがたい。病院としても襟を正し対応をしないとしないと思う。

マイナンバーカードの普及率は？
質問 マイナンバーカードの普及率はどうか。
答弁 令和3年度からマイナンバーカードが保険証として使える体制を整えるということと、今年度公務員の方々と作成申込書が送られたことと、今年9月からカードを作った一人最大5千円分のポイントが付く事業が計画されている。
角館こども園への集約化はあるのか？
質問 角館地区4保育園の園児も減少しているが、今後集約化もあるのか。
答弁 角館こども園は新しいが、白岩・中川・角館西保育園は築40年を経過しており小規模修繕を毎年行っている。今年度の出生数は、昨年度より20人程減り角館地区全体で40人程となる見込みである。令和4年4月を予定に、角館こども園の法人化移行を進めているが集約の方法も検討している。

令和2年度 一般会計予算の主な質疑

ここが知りたい 議論のポイント

ており、少しずつ増える想定している。カードの普及率は現在11%で、一年間で9%から11%まで上昇している。

産業建設常任委員会

令和2年度一般会計予算

農林水産業費 19億7,945万円 前年比74.7%の増

令和2年度の一般会計予算の内、労働費、農林水産費、商工費、土木費などの予算が審査されました。特に農林水産費は前年度対比で、プラス8億4,667万円(74.7%)と増額幅が大きくなっておりませんが、これは、黒沢工業団地に誘致する植物工場への国と市からの補助金が計上されたためです。

令和2年度一般会計予算 (産業建設常任委員会で審査された項目)

項目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	比較	増減比率	備考
労働費	6,572万円	6,804万円	△232万円	△3.4%	シバ-人材センター補助金など
農林水産業費	19億7,945万円	11億3,278万円	8億4,667万円	74.7%	植物工場への補助金で増額
商工費	8億8,041万円	9億432万円	△2,391万円	△2.6%	商工業振興や観光振興の予算
土木費	18億6,158万円	14億7,816万円	3億8,342万円	25.9%	下水道事業への補助金が計上され増額

令和2年度 一般会計予算の主な内容

強い農業・担い手づくり総合支援事業費補助金	11億円	黒沢工業団地に誘致する植物工場への補助金(国が10億円、市が1億円)
森林経営制度管理事業費	2,639万円	森林環境譲与税を活用した手入れの行き届いていない私有林の意向調査等
観光施設維持管理費	2,864万円	国立公園、県立自然公園ほか市内の観光施設の維持管理
伝承館展示資料購入整備費	310万円	新角館庁舎に飾る樺細工の壁掛け購入費
道路維持費	6,737万円	市道の維持補修費等
道路新設改良費	7億3,452万円	交付金を活用した市道の道路改良事業の実施

ここが知りたい 議論のポイント

令和2年度一般会計予算の主な質疑

地元企業による植物工場は絶対に失敗させてはならない

質問 黒沢工業団地に誘致する植物工場は、フランチャイズ型での経営とのことだが内容は。また、フランチャイズ元の会社はどこか。経営状況の調査や信用調査を行ったのか。

答弁 フランチャイズ型は、栽培技術等の指導や経営コンサルを受けることで、年額1,700万円程度の支払いが発生するが、生産物の全量買取り、工場建設支援、運営ノウハウ及び栽培技術などの最先端技術の提供を受けられるメリットが大きい。フランチャイズ元は、東京都内で半導体、電子部品を取扱っている一部上場企業であり、金融機関でリサーチしているが企業名はまだ公表できない。植物工場は全国5カ所で開催し、大館市と鹿角市にも植物工場があり参考になっている。

質問 この植物工場の経営計画について伺う。また、敷地内のインフラ整備の概要は。

答弁 常用雇用者が5〜10人、非常雇用者が20〜30人である。一株200gのリーフレタスを1日約1万8000株栽培し、年間約674トンを生産する計画である。4年目までは赤字で推移するが5年目以降は黒字にできる計画である。インフラ整備は、構内道路を約437万円に舗装予定である。水耕栽培のため、新たに口径100mmの水道管を敷設する工事費として約3,790万円を見込んでいる。

新型コロナウイルス感染症対策を迅速に

質問 新型コロナウイルスの影響による中小企業や小規模事業者の経済支援を早急に行う必要があるのではないかと。

答弁 国や県でも経済支援策が出ているが、市独自の利子補給や保証料の免除などを検討している。終息後の観光事業の直ぐに動ける体制づくりについても、観光協会等と連携し早急に提案していきたい。

道路整備と除雪業者の補償の考え方は

質問 令和2年度の道路整備工事に関する考え方を伺う。また、今冬期のように少雪で除雪の出動が少ない場合の待機料を含む除雪業者への補償の考え方について伺う。

答弁 道路整備工事については、配分された予算で工事を計画し、出来る限り地元業者に発注する形で進めたい。除雪業務の待機料については、業務委託契約の範囲内での支払いとなる。改善については新年度の検討事項となる。

新角館庁舎への樺細工の壁掛けについて

質問 新角館庁舎に飾る樺細工の壁掛けは、なぜ伝承館の展示資料購入費としたのか。後で伝承館に展示するのか。

答弁 角館の伝統工芸品のPRを兼ねて新角館庁舎へ展示するものである。科目替えについて検討したい。